

# 令和3年度事業報告

## 令和3年度 事業報告

公益社団法人 横浜歴史資産調査会

## 令和3年度事業の概要

「歴史を生かしたまちづくり」に大切な歴史的資産を、都市計画の視点から戦略的に調査・保全・活用を開始してから33年が経過した。

令和3年度も歴史的建造物や近代化遺産等の歴史的資産を生かした魅力溢れるまちづくりに向けて歴史的資産の調査研究をはじめ、保全・活用を目指した保護事業も積極的に実施した。

さらに「歴史を生かしたまちづくり」を推進するために、広く市民や専門家を対象にセミナーや講演、シンポジウム等を開催した。

併せて、「歴史を生かしたまちづくり」を円滑に行うための普及啓発、人材育成事業を行った。

令和3年度に実施した具体的な事業は次のとおりである。

注) 氏名については敬称略。

所属・役職等については、事業実施時点のもの。

# 1. 歴史を生かしたまちづくり推進事業（公益目的事業）

## （1）調査事業等

### （ア）歴史的建造物保全・活用計画関連調査

歴史的建造物や近代化遺産等の歴史的資産を保全・活用するための調査を実施した。

調査は現地での歴史的資産の現状把握及び所有者へのヒアリング、文献調査、所見作成等である。調査結果は、当公益団体の公益目的事業である「歴史を生かしたまちづくり推進事業」に活用するとともに、横浜市認定並びに登録歴史的建造物等への具体的な保全・活用をするために役立てることとした。

#### <自主調査>

#### ① 旧湘南電鉄（現・京浜急行電鉄）瀬戸変電所の修復調査及び同変電所保存活用委員会の開催等（金沢区）

##### a. 保存活用委員会の開催等

旧湘南電鉄瀬戸変電所の保存活用を推進することを目的に、令和元年度に保存活用委員会を設置した。

令和3年度は、修理計画に向けた議論を行った。

その他、京浜急行電鉄、横浜市都市整備局都市デザイン室等との調整会議や、後藤治委員長からの助言を元にワーキング会議を適宜行った。

#### 【保存活用委員会構成メンバー】

委員長 後藤 治(工学院大学理事長)

委員 西澤英和(関西大学教授)

田村雅紀(工学院大学教授)

小野田滋(公益財団法人鉄道総合研究所情報管理部担当部長)

山本博士(公益社団法人神奈川台場地域活性化推進協議会理事長)

大野道夫(京浜急行電鉄(株)鉄道本部施設部工務課担当課長)

梶山祐実(横浜市都市整備局都市デザイン室長)

吉田鋼市(当公益団体副会長・横浜国立大学名誉教授)

#### オブザーバー

原 幸一(京浜急行電鉄(株)鉄道本部施設部工務課課長補佐)

太田大輔(京浜急行電鉄(株)鉄道本部施設部工務課主任)

#### 事務局

米山淳一(当公益団体常務理事)

菅井 稔(当公益団体旧瀬戸変電所保存活用プロジェクト主任研究員)

亀井泰治(当公益団体研究員) ※横須賀市職員による協力

##### b. 修理計画調査

当公益団体が将来、京浜急行電鉄より寄贈を受け保存・活用計画を実施するに当たり、平成29年度は建屋のコンクリート等の耐震診断調

査及び現況把握調査を、平成 30 年度は地盤並びに建物の振動性及びブレーザーを用いた建屋の鉄骨や鉄筋調査を行い、建屋は鉄骨や鉄筋を併用した強固な構造で建設されていることが判明した。

令和 2 年度に行った建物の具体的な構造補強や屋根、窓周りを中心とした外板の調査結果を踏まえ、これに関する経費算出のための専門家による現地調査等を令和 3 年度に行い、その結果をまとめ修理計画書が出来上がった。

調査者：株式会社長坂設計工舎 長坂健太郎、上村一貴

：株式会社栄港建設 佐田あゆみ

調査指導：後藤治(保存活用委員会委員長・工学院大学理事長)他

#### c. 事業化に伴う保存活用調査

建物は、立地条件などから事務所としての用途が認められているが、イベント的に作品展示会等の開催が可能である。そのため現代芸術のアーティスト、デザイナー、写真家、建築家などの事務所として貸し出しを予定し、これにそった事業採算性を目的とした実践的な調査を行った。

調査者：AND150株式会社 野田恒雄

調査指導：亀井泰治（当公益社団研究員）

#### d. 3D画像による建屋の構造解析調査

特殊カメラを駆使し建屋の撮影を行い3D画像の製作を行った。

調査者：黒田泰介（当公益社団社員・関東学院大学教授）

### ② 山手西洋館等の保存対策調査（横浜市中区）

山手西洋館を歴史を生かしたまちづくりに活用するために住民の皆さんのお考えを伺った。

- ・高齢化、維持不能で取り壊し、売却、敷地分割後の戸建化等、現況が変化している。
- ・山手地区は、良好な住環境が整い資産家が住まうためか、個人主義が多い。
- ・マンション建設が進み、阻止したいが出来ないのが残念。
- ・「山手地区景観計画・景観協議地区」になったが、横浜市は予算をつけてくれず、地元は協定で指導している。
- ・「緑の協会」が西洋館を運営してから観光客中心の施設となり、地域との交流や協働がなくなった。住民と来訪者の交流の場が必要。

調査日：令和 3 年 10 月 15 日 場所：KKR

出席者：岡田富雄（山手東部町内会副会長・東部環境保全委員会会長）

石川喜三郎（山手西部自治会・元山手まちづくり推進会議代表  
幹事）

佐武 洋（山手西部町内会・まちづくり協定運営委員会会長）

水沼淑子（当公益社団理事・関東学院大学名誉教授）  
菅 孝能（(株)山手総合計画研究所会長）  
米山淳一（当公益社団法人常務理事）  
藤井健一（当公益社団経理担当）

### ③ 倉石忠雄家住宅現況把握調査等（長野県千曲市）

長野県北信地区の生糸や絹織物集散地として横浜と歴史文化的関係の深い千曲市稲荷山地区（国重要伝統的建造物群保存地区）にある旧倉石忠雄家住宅（元衆議院議員・労働大臣、農水大臣を歴任）の国重要文化財指定に向けての現況把握調査を平成30年度から継続で千曲市歴史文化財センターの調査費で実施している。

令和3年度は、千曲市文化財センター矢島宏雄氏のご指導の下、伝建物としての修理計画を検討した。

調査日：令和4年2月25日(金)

矢島宏雄(元千曲市歴史文化財センター所長)

担 当：米山淳一（当公益社団常務理事）

### ④ 旧モーガン邸再建計画等（藤沢市大鋸）

不審火で焼失した旧モーガン邸の再建を目指し、平成29年度に当公益社団で実施した復元再生計画調査の結果を踏まえ、再建に向けた再建委員会を組織し、委員会を開催した。（委員名簿は（2）②参照。）

委員会では、具体的な再建方針や募金計画の検討を行い、この結果を踏まえ、令和3年度に事務局では募金パンフレットを作成し配布した。

特に募金は、藤沢商工会議所にお問い合わせいただき、竹村専務理事のご尽力で理事会の席で理事等関係者に募金の協力依頼を行った。

また、一方で、日常管理や運営を行っている「NPO法人旧モーガン邸を守る会」、土地の7割を所有する藤沢市（担当・生涯学習部郷土歴史課文化財担当）、当公益社団の3者で構成する「モーガン邸再建活用検討会」（ほぼ毎月第3金曜日に開催）にて、これまでの取り組みを随時報告するとともに再建に向けた問題や課題に関して話し合った。

さらに、敷地内の斜面緑地の樹木調査をはじめ、周辺の3町内会長にご挨拶に伺い、保存活用のご協力をお願いした。

### ⑤ 細野燕台家茶室の現況調査（鎌倉市）

篆刻や古陶磁器等を通じて北大路魯山人と親交の深かった細野燕台氏は、魯山人の招きもあり、大正期に石川県の金沢市から北鎌倉の明月院の門前に居を移した。細野氏はこれを機に北鎌倉で茶の湯文化を広め、政財界人や文化人がこぞって茶室を起こしている。その拠点になったのが細野家に現存する西明庵等2棟の茶室である。

当公益社団は鎌倉市と協働で、この2棟の茶室の将来の保存に向けて所有者の意向調査を行い、明月院や周辺の歴史的風致と一体となった茶室を鎌倉市景観重要建築物として位置づけ保存に向けた調整をおこなった。

鎌倉市:奥山信治(鎌倉市都市景観課長)、平井早帆(鎌倉市都市景観課)  
担当:米山淳一(当公益社団常務理事)

## <受託調査>

### 歴史的建造物の保全計画案等の検討 [横浜市受託事業]

#### ① 歴史的建造物の概況調査等

- a. 池谷家住宅(港北区綱島東)
  - ・建物の保全に関する技術的助言
  - ・改修の変遷等確認の現地調査調査者:大野 敏(当公益社団理事・横浜国立大学院教授)
- b. 旧円通寺客殿(金沢区瀬戸)
  - ・建物の保全活用に関する助言
  - ・放水銃の動線確認及び保全活用に関する助言調査者:大野 敏(当公益社団理事・横浜国立大学院教授)
- c. 三井住友銀行横浜支店(中区本町)
  - ・現地概況調査、保全活用に関する助言
  - ・保全活用すべく部材に関する調査及び技術的助言調査者:吉田剛市(当公益社団副会長・横浜国立大学名誉教授)  
関 和明(当公益社団理事・関東学院大学名誉教授)
- d. 旧横浜市庁舎(中区港町)
  - ・2代目、4代目庁舎遺構の調査、保全活用の助言調査者:関 和明(当公益社団理事・関東学院大学名誉教授)  
青木祐介(横浜都市発展記念館副館長)
- e. 横濱ビル(中区海岸通)
  - ・保全活用すべく部材に関する調査、技術的な助言調査者:吉田剛市(当公益社団副会長・横浜国立大学名誉教授)
- f. 旧英国七番館(中区山下町)
  - ・耐震改修にあたっての事前立ち会い、技術的助言調査者:吉田剛市(当公益社団副会長・横浜国立大学名誉教授)
- g. 山手のブラフ積み(中区山手町)
  - ・保全活用のための現地調査調査者:阿部貴弘(国士舘大学教授)
- h. 東横線跡地(西区高島)
  - ・保全活用に向けた写真撮影等撮影者:米山淳一(当公益社団法人常務理事)
- i. 井上良斎登り窯(南区永田東)
  - ・現況概況調査調査者:青木祐介(横浜開港資料館副館長)

#### ② 登録又は認定歴史的建造物の候補である建造物等の調査

- a. 三井住友銀行横浜支店(中区本町)
  - ・所見作成調査者:吉田剛市(当公益社団副会長・横浜国立大学名誉教授)
- b. 山手34番館(中区山手町)
  - ・測量、建物調査、耐震改修資料作成他

調査者：兼弘 彰ほか7名(よこはま洋館付き住宅を考える会)  
遠藤靖仁((株) トージ建築)

c. 東横線跡地(西区高島)

・所見作成

調査者：小野田滋(公益財団法人鉄道総合技術研究所担当部長)

d. 長者橋(中区長者町)

・所見作成

調査者：中藤誠二(当公益社団社員・関東学院教授)

e. 瑞穂橋梁(神奈川区瑞穂町)

・所見作成

調査者：小野田滋(公益財団法人鉄道総合技術研究所担当部長)

f. 池谷家住宅(港北区綱島東)

・所見作成

調査者：大野敏(横浜国立大学教授・当公益社団理事)

**③ 認定歴史的建造物に関する保全活用計画案の策定又は変更案の作成**

a. 長者橋(中区)

・保全活用計画案の作成

調査者：中藤誠二(当公益社団社員・関東学院教授)

**④ 歴史的建造物に関する制度等の検討**

歴史的建造物の保存活用に向けて、新たな制度や仕組みを作っていくにあたり、横浜市文化財保存活用地域計画作成と、歴史的建造物台帳登録調査に関してのヒアリングを、専門家及び学識経験者に行った。

**(イ) 歴史を生かしたまちづくり相談室の実施**

歴史を生かしたまちづくり推進事業を円滑に進めるために、より広く市民等から関連の情報を頂く相談室を開設している。令和3年度は新規相談3件、前年度からの継続2件であった。

**① 西教寺(南区三春台) ※令和元年度からの継続**

昭和7年建造の鉄筋コンクリート造りである西教寺本堂は、住職や専属の設計業者から横浜市認定歴史的建造物または横浜市指定有形文化財への希望があり、当公益社団では令和元年度に建物の現況調査や所有者へのヒアリング調査を行ったところであるが、令和3年度は、将来の横浜市登録や認定歴史的建造物や文化財指定に向けた方向性を所有者らと整理した。

\*ヘリテイジスタイル 2021 秋号で大野敏理事が紹介済み

**② 谷戸家住宅の維持管理(磯子区滝頭)**

谷戸家住宅は、磯子区に残る昭和初期の近代和風建築である。所有者のご意向で、現状のまま住み続けたいとしているが、若夫婦は風呂や台所をはじめ水回り等を現代の生活に合わせた設備に更新したいと所有者の父を説得するがなかなか理解を得られない。

そこで、建物を尊重して改修するため指導依頼の相談があった。

### ③ 旧井上良齋登り窯と谷戸の景観保全（南区永田東）※継続

平成29年に南区役所区政推進課まちづくり担当と所有者の川井興一氏からの依頼で相談室案件となり、平成29年度に一度現地を訪問。これが縁となり、再び南区から都市デザイン室に依頼があり、保存に向けた取り組みが始まった。

現在、市民団体である「登り窯と永田の自然を守る会」がこの地で活動しており、地区全体を将来に亘り保全し、後世に伝え残したいと南区を通じて再度相談があった。

＊ヘリテイジスタイル 2022 春号で活動を紹介済み

### ④ 旧長濱検疫所一号停留所の保存（金沢区長浜）

明治期の検疫の拠点だった旧長濱検疫所施設の中でも一番大規模な木造建築が一号停留所である。現在は国の登録有形文化財で、厚生労働省の所有だが、施設が新たな地に移転するに伴い、解体の危機にある。これを地元で保全活用するべく活動しているのが「野口英世よこはま顕彰会」である。同会は、現地での保全活用を目指すべく活動中で、保存に向けた相談があった。

### ⑤ 横浜ドリームランドホテルエンパイアの保全（戸塚区俣野町）

未来都市を思わせるテーマパーク「横浜ドリームランド」がオープンしたのは昭和40年。なかでも高層のホテルエンパイアはデザインやその存在感から施設のシンボリック的存在であった。現在は、横浜薬科大学がこの建物を図書館他として使用している。

鉄筋コンクリート造りの高層建築は、そのデザインからも市内の戦後建築として注目を集め、横浜市登録や認定歴史的建造物としての相談が北村圭一氏（元横浜市港湾局港湾整備担当部長）の紹介で、葛西光春氏（元戸塚区長）からあった。

## (ウ) 俣野別邸庭園内歴史的建造物の助言・指導

### 【公益財団法人横浜市緑の協会受託事業】

平成29年4月から公開された「俣野別邸庭園」（横浜市戸塚区）の管理運営に関する助言や同庭園の職員研修セミナーをはじめ、同協会が管理する山手西洋館等の「○職員研修セミナー」、「●市民向け歴史講座」を行った。

○令和3年11月15日(木) 14:00～15:00

野島公園旧伊藤博文金沢別邸 職員研修セミナー

講師：菅孝能（(株)山手総合計画研究所会長）

演題：「伊藤博文・野島別荘から考える」

— 横浜邸園文化圏と湘南邸園文化圏 —

○令和3年11月18日(木) 14:00～15:30

俣野別邸庭園 職員研修セミナー

講師：米山淳一（当公益社団常務理事）

演題：「開港都市の文化遺産 (1) 函館、神戸、長崎」



- 令和3年11月19日(金) 13:30~14:30  
山手西洋館 市民向け歴史講座 (ベーリック・ホール)  
講師：菅孝能 ((株)山手総合計画研究所会長)  
演題：「山手の洋館とまちづくり」
- 令和3年11月20日(土) 11:00 ~ 12:00  
馬場花木園古民家 (旧藤本家住宅) 市民向け歴史講座  
講師：大野敏(当公益社団理事・横浜国立大学教授)  
演題：「神奈川と横浜の古民家の魅力 横浜の茅葺きを中心として」
- 令和3年11月26日(金) 13:30~14:30  
山手西洋館 市民向け歴史講座 (ベーリック・ホール)  
講師：関和明 (当公益社団理事・関東学院大学名誉教授)  
演題：「保存された山手西洋館の魅力」
- 令和3年12月16日(木) 14:00~15:00  
俣野別邸庭園 職員研修セミナー  
講師：米山淳一(当公益社団常務理事)  
演題：「開港都市の文化遺産 (2)新潟、横浜」  
「英国ナショナルトラストの活動とカントリーハウスの保存」
- 令和4年1月20日(木) 14:00~15:00  
俣野別邸庭園 職員研修セミナー  
講師：菅孝能 ((株)山手総合計画研究所会長)  
演題：「地域の文化遺産 湘南の別荘建築  
第1部(葉山・逗子・鎌倉)」
- 令和4年2月17日(木) 14:00~15:00  
俣野別邸庭園 職員研修セミナー  
講師：菅孝能 ((株)山手総合計画研究所会長)  
演題：「地域の文化遺産 湘南の別荘建築  
第2部(大磯・小田原・箱根)」
- 令和4年3月13日(土) 14:00~15:00  
俣野別邸庭園 市民向け歴史講座  
講師：安川千秋(写真家、日本写真協会会員、日本建築写真家協会会員)  
演題：「みなと横浜のうつろい~その歴史的景観」

## (2)保護事業

### <自主事業>

#### ①野毛都橋商店街ビルの保全・管理(横浜市中区)

平成29年9月に公益財団法人横浜市建築助成公社より寄贈を受けた「野毛都橋商店街ビル」の保全・活用を積極的に行った。

日常管理を行っている横浜野毛商業協同組合と、管理等に関し情報交換を行った。

また、各店舗の故障した煙熱探知器の取り換え、防災設備の検査や点検をおこなった。

さらに、映画やコマーシャルのロケ地撮影を通じて歴史文化的価値をアピールし、合わせて使用料を建物保全のための寄付金として頂いた。

☆ロケ撮影を行った番組等(7本)

- ・日本テレビ7月期土曜ドラマ  
「ボイスⅡ 110 緊急指令室」
- ・WOWOW x 東海テレビ共同製作連続ドラマ  
「准教授・高槻彰良の推察」シーズン1
- ・東映映画 (令和4年8月公開予定)  
「ハウ haw」(愛犬と過ごした大切な思い出を描いた劇映画)
- ・KADOKAWA 映画 (令和4年7月公開予定)  
「TELL ME hide と見た景色」(hide の実弟の著書の映画化)
- ・日活映画 (公開未定)  
「零落」(浅野いにおの同名コミック実写映画化)
- ・テレビコマーシャル  
(宝くじナンバーズ) (5月撮影)
- ・テレビコマーシャル  
(宝くじナンバーズ) (9月撮影)

## ②「建築家 J. H. モーガン自邸」(藤沢市)の再建・保存・活用

当公益団体では、「旧モーガン邸再建委員会」を設け、準備会を含めて、4回の委員会を開催し、再建に向けた募金計画やパンフレットを作成した。

また、敷地内の車庫、温室、ポンプ庫小屋、正門、中門等について火災保険、さらに敷地内トラブル対策のために損害保険に加入した。

NPO 法人旧モーガン邸を守る会、藤沢市生涯学習部郷土歴史課文化財担当と力を合わせて「モーガン邸再建活用検討会」(ほぼ毎月第3金曜日開催)を開催し、再建委員会と歩調を合わせて事業を展開した。

また、「NPO 法人旧モーガン邸を守る会」主催の募金コンサートや庭園公開他の活用イベントに共催するなど積極的に協力した。

### ◎旧モーガン邸再建委員会名簿

- 委員長 水沼淑子 (当公益団体理事・関東学院大学名誉教授)
- 委員 大野 敏 (当公益団体理事・横浜国立大学院教授)
- 小沢朝江 (当公益団社員・東海大学教授)
- 菅 孝能 ((株)山手総合計画研究所会長)
- 徳重淳子 (NPO 法人旧モーガン邸を守る会理事長)
- 福永雪子 (NPO 法人旧モーガン邸を守る会副理事長)
- 堀 靖子 (NPO 法人旧モーガン邸を守る会理事)
- 栗山直子 (NPO 法人旧モーガン邸を守る会理事)
- 佐藤里紗 (NPO 法人旧モーガン邸を守る会理事)
- 事務局 米山淳一 (当公益団体常務理事)
- 門倉正幸 (当公益団体総務担当)

### ◎委員会の開催

- 準備会 令和3年11月22日(月)藤沢商工会議所ミナパーク会議室
- 第1回 令和3年12月13日(月)藤沢商工会議所ミナパーク会議室
- 第2回 令和4年1月17日(月)藤沢商工会議所ミナパーク会議室
- 第3回 令和4年3月7日(月)藤沢商工会議所ミナパーク会議室

### (3) 普及啓発、人材育成事業

#### セミナー・シンポジウム等の開催及び刊行物の作成

歴史を生かしたまちづくりを推進するためには、市民、専門家、企業等の理解や参加が大切である。歴史的資産の保全・活用のための普及啓発を目的としたセミナー等の開催及び刊行物の作成を、以下のとおり行った。

#### <自主事業>

##### ① シルクロード・ネットワーク・神戸市 2021 大会開催支援

令和 3 年 11 月に神戸市において開催する計画であったが、神戸市と調整し、感染症拡大のため令和 4 年度に開催すべく延期した。

\*当公益社団が代表幹事団体として事務局を担っている。

##### ② 日本鉄道保存協会総会 2021 栗原市大会開催支援

令和 3 年 11 月 25 日(木)～26 日(金)の 2 日間、宮城県栗原市において開催した。

\*当公益社団が代表幹事団体として事務局を担っている。

##### ③ 「コンサート in ヘリテージ～ピアノが案内する横浜の歴史とまち Vol. 9～」 (第 15 回横浜山手芸術祭参加企画)

令和 4 年 2 月に開催された第 15 回横浜山手芸術祭の参加企画として計画されたが、感染症拡大のため、同祭の一般参加募集が中止となったので、令和 4 年度に延期した。

##### ④ かながわヘリテイジマネージャー協会との協働と支援

神奈川県主宰で行っていたヘリテイジマネージャー制度が終了後、活動が一時停滞していた同協会は、役員を一新し、新たな活動を開始した。この機会に当公益社団では、同協会と歴史的建造物等の調査、保存、活用に向けて、力を合わせていくことで合意。また歴史を生かした市民相談室案件の緊急調査等にヘリテイジマネージャーの参加を促した。

##### ⑤ 鉄道開業 150 周年記念事業委員会の設置と開催

新橋一横浜間に鉄道が開業して令和 4 年 (2022) で 150 周年を迎える。近代横浜の発展の礎となった鉄道の開業を祝し、記念事業を行うべく、委員会を設置し関連事業の実施に向けて委員会を開催した。

記念事業として神奈川県内や横浜市内の鉄道遺産調査、調査成果の冊子発行・配布、調査成果の展示イベント、見学会開催、記念ロゴの作成の等が提案された。

#### ◎委員会名簿

委員長 古賀 学 (当公益社団理事・松陰大学教授)

委員 岡田 直（横浜都市発展記念館・主任調査研究員）  
小野田滋（公益財団法人鉄道総合技術研究所担当部長）  
北村圭一（元横浜市港湾局港湾整備担当部長）  
齊藤大起（神奈川新聞文化部記者）  
菅 建彦（公益財団法人交通協力会顧問）  
二階堂行宣（法政大学准教授）

オブザーバー 北河大次郎（文化庁文化財調査官・近代化遺産担当）  
事務局担当 米山淳一（当公益社団常務理事）  
河合桃子（当公益社団事業担当）  
田中光一（当公益社団広報担当）

◎委員会の開催

第1回 令和2年12月24日(木)神奈川新聞会議室  
第2回 令和3年7月14日(水)関内ホール地下会議室  
第3回 令和3年3月29日(火)会議室マイスペース・横浜関内店

<受託事業>

**歴史的建造物に関する調査・研究及び普及啓発等業務委託[横浜市受託]**

歴史的資産の保全・活用に関して市民、専門家、企業等からの理解や協力、支援を目指して、「歴史を生かしたまちづくりセミナー」の開催、「歴史を生かしたまちづくり横濱新聞37号」の編集・印刷、歴史を生かしたまちづくり広報誌の改訂検討を行った。

① 「歴史を生かしたまちづくりセミナー Vol. 4 4  
歴史を生かしたまちづくり  
～歴史的景観が市民生活を豊かにする～」

日時：令和4年3月27日(土) 午後1時30分～午後4時30分  
場所：横浜市役所1階 アトリウム空間  
\*横浜都市デザイン50周年記念事業  
都市デザインを「知る」講演会の第4回として開催

プログラム：

講演1 「歴史を生かしたまちづくりの足跡」  
西脇敏夫（元横浜市都市整備局都市デザイン室長）  
講演2 「馬車道商店街の活性化」  
六川勝仁（馬車道商店街協同組合理事長）  
コメンテーター  
西村幸夫（国学院大学教授）  
コーディネーター  
米山淳一（当公益社団常務理事）  
司会 渡辺荘子(横浜市都市整備局都市デザイン室担当係長)

主催：公益社団法人横浜歴史資産調査会、横浜市、  
参加者数：100名（会場）＋約50名（WEB視聴者）

- ② 「歴史を生かしたまちづくり 横濱新聞」第37号の編集・印刷  
印刷部数は3,500部。市民、横浜市関係機関(市民情報センター、各区広報相談部署、各図書館、山手西洋館等)、当公益社団会員等への配布を行った。

発行日：令和3年12月25日

- ③ 歴史を生かしたまちづくり広報誌の改訂検討  
『都市の記憶 横浜の主要歴史的建造物』(改訂第6版、平成26年4月発行)の改訂に向けて、修正が必要な箇所洗い出し、掲載内容に関する専門家へのヒアリング等を行った。

## 2. 会員事業

当公益社団の事業の益々の発展を目的に、広く継続的な支援を得るために賛助会員、団体会員、ヨコハマヘリテイジ・サポートクラブ個人会員の募集を行った。

また、個人会員、賛助会員、団体会員等を対象とした会報誌「ヨコハマヘリテイジスタイル」を年に4回(季刊)発行するとともに、ホームページを通じて活動を広く発信した。

### ヨコハマヘリテイジスタイル 2021年夏号(7月31日発行)

- 1 ページ：「旧モーガン邸再建活用事業スタート」  
宮村忠(当公益社団 会長・関東学院大学名誉教授)
- 2～3 ページ：「公益社団法人横浜歴史資産調査会令和3年度事業計画」  
米山淳一(当公益社団 常務理事)
- 4 ページ：鉄道開業150周年(連載2) 菅 建彦(交通協力会顧問)  
：日本近代建築人名総覧(堀 勇良著・当公益社団理事)の紹介  
吉田鋼市(当公益社団副会長・横浜国立大学名誉教授)

### ヨコハマヘリテイジスタイル 2021年秋号(11月10日発行)

- 1 ページ：「横浜都市デザイン」の50周年に寄せて  
西脇敏夫(元横浜市都市デザイン室長)
- 2 ページ：アーバンデザイン50周年を迎えて  
米山淳一(当公益社団常務理事)
- 3 ページ：西教寺本堂の魅力(南区三春台)  
大野 敏(当公益社団理事・横浜国立大学院教授)
- 4 ページ：鉄道開業150周年(連載3)  
北河大次郎(文化庁調査官)  
：旧モーガン邸再建のためのご寄付のお願い

### ヨコハマヘリテイジスタイル 2022 早春号(1月31日発行)

- 1 ページ：近代横浜を支えた生糸と鉄道  
宮村 忠（当公益社団 会長・関東学院大学名誉教授）
- 2 ページ：横浜のシルク遺産  
吉田鋼市（当公益社団副会長・横浜国立大学名誉教授）
- 3 ページ：シルクと鉄道・横浜を目指した鉄道  
大島登志彦（高崎経済大学名誉教授）
- 4 ページ：鉄道開業 150 周年（連載 4）  
米山淳一（当公益社団常務理事）  
：旧モーガン邸再建のためのご寄付のお願い

#### ヨコハマヘリテイジスタイル 2022 春号（3 月 31 日発行）

- 1 ページ：横浜の戦後建築  
吉田鋼市（当公益社団副会長・横浜国立大学名誉教授）
- 2 ページ：横浜の戦後建築の嚆矢「防火帯建築」  
菅 孝能（(株)山手総合計画研究所会長）
- 3～4 ページ：近代横浜の陶磁器産業
  - ・横浜港からの輸出陶磁器を手がけた  
井上良斎と宮川香山  
佐藤登美子（神奈川県立博物館学芸部）
  - ・陶芸家 井上良斎の窯場  
川井興一（登り窯と永田の自然を守る会事務局）
- ：鉄道開業 150 周年（連載 5）  
北村圭一（元横浜市港湾局港湾整備担当部長）

### 3. 周年特別事業

#### 横浜歴史資産調査会設置 30 周年・法人化 10 周年記念式典・交流会の開催

令和元年度に開催を予定していた標記行事については、コロナ感染症拡大のため、令和2年度に開催を延期した。しかし、令和2年度中の開催がかなわず、さらに令和4年3月19日(金)にホテルニューグランドにて開催を計画したが、令和4年1月7日に発令された緊急事態宣言等を踏まえ、令和4年度に開催すべく再度延期した。

### 4. 書籍販売事業（収益事業）

令和3年度においては、当公益社団での直売及び委託販売先 12 カ所において、以下の刊行物を販売した。

- ・「都市の記憶—横浜の主要歴史的建造物(第6版)」  
販売冊数：24 冊
- ・「ヨコハマヘリテイジ・ブックレット 2～ 港・鉄道・横浜」  
販売冊数：12 冊
- ・「都市の記憶—横浜の土木遺産」（昭和 63 年発行・平成元年第 2 刷）  
販売冊数：3 冊

以 上